

作品解説

伊勢物語

作者

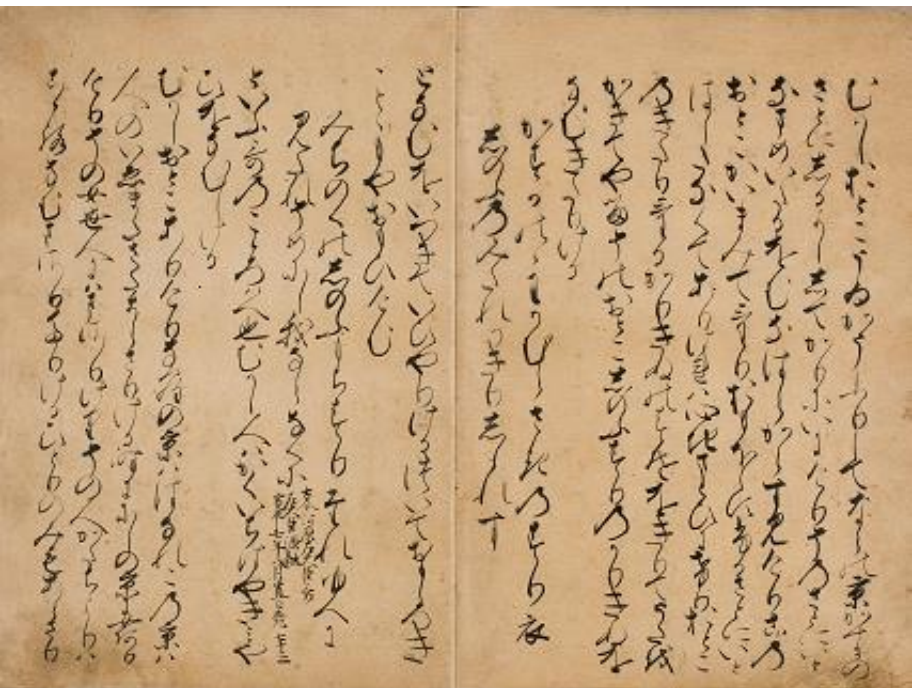
未詳。

ジャンル

歌物語。

成立

原形は九〇五（延喜五）年にはできていたらしい。その後、数十年にわたって増補改訂され、十世紀後半に現在の姿に近い形になったと推定される。



『伊勢物語』写本の冒頭部
出典：日本古典籍データセット

内容

●和歌を中心とした短い章段
約百二十五段からなる。

●平安時代の貴族・在原業平
を思わせる主人公「男」の一
代記のような構成。

●簡潔ながら叙情性に富んだ
和文で、男女の恋・主従の
絆・親子の情愛などを描く。



在原業平

出典：日本古典籍データセット

評価

現存する最古の歌物語。

後続の歌物語『大和物語』

『平中物語』はもちろん、

『源氏物語』や能楽、美術

作品など、後世の日本文化

に多大な影響を与えた。



伊勢物語八橋図（尾形光琳筆）
出典：ColBase